

# 物流の I T 化

## 人材育成上の課題・目標

- ・物流全体の最適化・効率化を実現したい
- ・物流コストを削減したい
- ・物流システムの最新動向を知りたい
- ・最新 I o T を活用した物流の I T 化の情報を知りたい



## 課題解決・目標達成を目指して

- ・流通・物流ネットワークの構築と情報技術を理解する
- ・需要予測及び輸送・配送計画方法を理解する
- ・物流 I T 導入に伴う問題検証方法を理解する
- ・流通・物流業界における I T 化事例を知る

## コースのねらい

宅配と通販の関係及び物流の I T 化の進展、関連する情報技術を知り、流通物流ネットワークの構築について提案することができる知識と技能を習得する。

## カリキュラム（例）

基本要素	基本項目	主な内容（例）
	■ 流通・物流ネットワークの構築と情報技術	・流通ネットワーク ・物流ネットワーク
	■ 物流の I T 化の進展	・物流の I T 化 ・物流革新
	演習（例）	・事例を用いた需要予測及び輸送・配送計画演習 ・物流 I T 導入に伴う問題検証グループ演習 ・自社におけるデータマイニングによる需要予測及び輸送・配送計画
応用・実践要素（例）		・関連情報技術と科学的管理法 ・流通・物流における情報端末の活用 ・流通・物流業界における I T 化事例紹介

## 日程設定と受講料（例）

- (1) 1 日（6 時間）コース  
3, 3 0 0 円（税込）
- (2) 2 日間（1 2 時間）コース  
5, 5 0 0 円（税込）

※ 金額は、1 名あたりの受講料です。  
※ 6 ～ 3 0 時間の間で設定可能です。

## 推奨対象者

初任層

## 関連コース

- A 流通・物流
  - ・ 3 P L と S C M
  - ・ 流通システム設計
  - ・ 物流システム設計
  - ・ S C M の現状と将来展望
- A 生産管理
  - ・ P O S システムの活用技術
- B 組織マネジメント
  - ・ 物流現場のリーダー育成

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。  
なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。

# 流通システム設計

## 人材育成上の課題・目標

- ・ 自社流通コストの分析結果からコスト削減を図りたい
- ・ 流通システム導入を考えているがその手順を知りたい
- ・ 流通システムの最新動向を知りたい
- ・ 売上最大化戦略を目指したシステム開発の動向を知りたい



## 課題解決・目標達成を目指して

- ・ 流通システム分析方法を理解する
- ・ システム分析とシステム設計手順を理解する
- ・ クラウド環境に対応したSCMソフトウェアを知る
- ・ 流通システム開発導入事例を知る

## コースのねらい

流通システムとその進め方及び新たな流通システムの事例を知り、流通システム設計を進めるための知識と技能を習得する。

## カリキュラム（例）

基本要素	基本項目	主な内容（例）
	■ 物流コスト管理と生産性向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自社物流コストの算定</li> <li>・ 物流ABC準拠による物流コストの算定</li> </ul>
	■ システム分析とシステム設計手順	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ システム分析とその進め方</li> <li>・ システム分析とシステム設計との関係</li> </ul>
	■ SCM（Supply Chain Management）のシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SCMシステム概要</li> <li>・ SCM取組み事例</li> </ul>
	演習（例）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動基準原価計算演習</li> <li>・ 流通システム分析グループ演習</li> <li>・ 自社流通システムの分析</li> </ul>
応用・実践要素（例）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TOC（Theory of Constraints）制約条件の理論</li> <li>・ クラウド環境に対応したSCMソフトウェアの紹介</li> <li>・ 流通システム開発導入事例紹介</li> </ul>

## 日程設定と受講料（例）

- (1) 1日（6時間）コース  
3,300円（税込）
- (2) 2日間（12時間）コース  
5,500円（税込）

※ 金額は、1名あたりの受講料です。  
※ 6～30時間の間で設定可能です。

## 推奨対象者

中堅層

## 関連コース

- A 生産管理
  - ・ 在庫管理システムの導入
  - ・ 在庫管理の進め方
  - ・ 購買・仕入れのコスト削減
- A 流通・物流
  - ・ 3PLとSCM
  - ・ 物流のIT化
  - ・ 物流システム設計
  - ・ SCMの現状と将来展望
- A バックオフィス
  - ・ 企業価値を上げるための財務管理
- C プロモーション
  - ・ プロモーションとチャネル戦略

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。  
なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。

# 物流システム設計

## 人材育成上の課題・目標

- ・ 自社物流コストの分析結果からコスト削減を図りたい
- ・ 物流システム導入を考えているがその手順を知りたい
- ・ 物流システムの最新動向を知りたい
- ・ 売上最大化戦略を目指したシステム開発の動向を知りたい



## 課題解決・目標達成を目指して

- ・ 物流コスト管理方法を理解する
- ・ 物流システム設計の手法を理解する
- ・ I C タグを活用した物流システムの管理の実際を知る
- ・ 物流システムを用いた効率的な物流業務（倉庫・在庫管理）を知る

## コースのねらい

物流の生産性向上とコスト管理を理解し、物流システムの設計に関する知識・技能を習得する。

## カリキュラム（例）

基本要素	基本項目	主な内容（例）
	■ 物流の生産性向上とコスト管理	・ 物流コストと標準化 ・ 物流の生産性向上
	■ 物流システム設計	・ 物流システム設計の概要 ・ 物流システム設計の手法
	演習（例）	・ 課題を用いた物流システム設計演習 ・ 生産性向上に向けた物流の改善グループ演習 ・ 自社における配送計画の作成
応用・実践要素（例）		・ 物流センターの設備設計 ・ I C タグを活用した物流システムの管理の実際 ・ 物流システムを用いた物流業務の効率化（倉庫管理、在庫管理）

## 日程設定と受講料（例）

- (1) 1日（6時間）コース  
3,300円（税込）
- (2) 2日間（12時間）コース  
5,500円（税込）

※ 金額は、1名あたりの受講料です。  
※ 6～30時間の間で設定可能です。

## 推奨対象者

中堅層

## 関連コース

- A 生産管理
  - ・ 在庫管理システムの導入
  - ・ 在庫管理の進め方
  - ・ 購買・仕入れのコスト削減
- A 流通・物流
  - ・ 3PLとSCM
  - ・ 物流のIT化
  - ・ 物流システム設計
  - ・ SCMの現状と将来展望
- A バックオフィス
  - ・ 企業価値を上げるための財務管理

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。  
なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。

012

# 卸売業・サービス業の販売戦略

## 人材育成上の課題・目標

- ・市場・顧客の拡大から売上高と粗利益率の最大化を図りたい
- ・新たな流通、商品開発において付加価値の追求に取り組むたい
- ・価格以外の競争優位性を高めたい
- ・コスト削減、仕入れ価格、オペレーションコストの抑制に取り組むたい

## 課題解決・目標達成を目指して

- ・効果的な販売戦略案を作成する
- ・ニューサービスの経営特性を理解する
- ・自社におけるビジネス活動の問題解決方法を理解する
- ・販売活動の改善方法を理解する

## コースのねらい

サービス業の経営上の特質を知り、卸売業・サービス業の販売戦略を構築できる知識及び技能を習得する。

## カリキュラム（例）

基本要素	基本項目	主な内容（例）
	■ 卸売業の活性化と流通機構	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営戦略の転換による活性化</li> <li>・流通機構システムと卸売業</li> <li>・流通機構の近代化への役割分担</li> <li>・充足戦略</li> <li>・販売促進機能</li> </ul>
	■ 組織化活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能と活動体系</li> <li>・組織化活動と連携意識</li> <li>・VC（ボランティアチェーン）組織の一般的な機構内容</li> </ul>
	■ サービス業の経営上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般サービス業のビジネス活動</li> <li>・ニューサービスの経営特性</li> <li>・マーケット開拓のポイント</li> <li>・サービス活動の付加価値</li> </ul>
	演習（例）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売戦略案の作成</li> <li>・販売活動改善グループ演習</li> <li>・自社におけるビジネス活動の問題解決</li> </ul>
応用・実践要素（例）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・取引先支援活動（ディーラーヘルプ等）</li> <li>・ITネットワークを使った情報化対応事例</li> <li>・ニューサービス業成功事例</li> </ul>

## 日程設定と受講料（例）

- (1) 1日（6時間）コース  
3,300円（税込）
- (2) 2日間（12時間）コース  
5,500円（税込）

※ 金額は、1名あたりの受講料です。  
※ 6～30時間の間で設定可能です。

## 推奨対象者

中堅層

## 関連コース

- A 生産管理
  - ・サービス業におけるIE活用
  - ・原価管理とコストダウン
  - ・購買・仕入れのコスト削減
- C 営業・販売
  - ・マーケティング志向の営業活動の分析と改善
- C マーケティング
  - ・実務に基づくマーケティング入門
- C 企画・価格
  - ・製品・市場戦略

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。  
なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。

# SCMの現状と将来展望

## 人材育成上の課題・目標

- ・販売、受注実績データから、発注、生産、販売までの最適化を図りたい
- ・在庫の削減などによるコスト削減、経営の効率化を目指したい
- ・コスト削減、仕入れ価格、オペレーションコストの抑制に取り組みたい
- ・自社商品のグローバル化を図りたい



## 課題解決・目標達成を目指して

- ・SCMの仕組みを理解する
- ・SCM構築に当たっての問題検証をする
- ・自社の将来を見据えたSCM構築案を作成する
- ・グローバルサプライマネジメントへの転換を検討する

## コースのねらい

サプライチェーン・マネジメントの概要及び現状と将来展望を知り、サプライチェーン・マネジメント経営手法についての知識と技能を習得する。

## カリキュラム（例）

	基本項目	主な内容（例）
基本要素	■ SCM (Supply Chain Management)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サプライチェーン・マネジメントの概要</li> <li>・基本コンセプト</li> <li>・経営環境の変化とSCM</li> </ul>
	■ 現状と将来展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メーカーにおける現状と将来展望</li> <li>・小売業における現状と将来展望</li> </ul>
	演習（例）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例や課題を通じたSCM業務連鎖シミュレーション演習</li> <li>・SCM構築に当たっての問題検証</li> <li>・自社の将来を見据えたSCM構築案の作成</li> </ul>
	応用・実践要素（例）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバルサプライマネジメント</li> <li>・ITとサプライチェーン・マネジメント</li> <li>・SCM構築事例</li> </ul>

## 日程設定と受講料（例）

- (1) 1日（6時間）コース  
3,300円（税込）
- (2) 2日間（12時間）コース  
5,500円（税込）

※ 金額は、1名あたりの受講料です。  
※ 6～30時間の間で設定可能です。

## 推奨対象者

管理者層

## 関連コース

- A 生産管理
  - ・購買・仕入れのコスト削減
- A 流通・物流
  - ・3PLとSCM
  - ・物流のIT化
  - ・流通システム設計
  - ・物流システム設計
- B 組織マネジメント
  - ・物流現場のリーダー育成
- C プロモーション
  - ・プロモーションとチャネル戦略

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。  
なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。

# クラウド活用入門

## 人材育成上の課題・目標

- ・クラウドサービスについて興味がある
- ・クラウド活用のメリットと導入事例が知りたい
- ・生産活動にスピードと柔軟性をもたせたい
- ・社内サーバでの情報管理に限界を感じている
- ・ITの運用管理コストの削減策を検討したい



## 課題解決・目標達成を目指して

- ・クラウドの概要と活用のメリット・デメリットを整理する
- ・ストレージとデータベース機能を理解する
- ・IT運用管理コストの低減方法を理解する
- ・クラウドの活用事例を知る

## コースのねらい

クラウドに関する基本的な知識、サービス及び利用方法を理解し、クラウドを活用した業務展開の企画提案の知識と技能を習得する。

## カリキュラム（例）

基本要素	基本項目		主な内容（例）
	■ クラウド		<ul style="list-style-type: none"><li>・クラウドコンピューティング</li><li>・クラウドの定義と特徴</li><li>・クラウド活用のメリット</li><li>・クラウドの利用モデル</li></ul>
	■ クラウドサービス		<ul style="list-style-type: none"><li>・クラウドサービスの概要</li><li>・ストレージサービス</li><li>・ネットワークサービス</li><li>・データベースサービス</li></ul>
	■ クラウドの利用		<ul style="list-style-type: none"><li>・クラウドサービスの利用方法</li><li>・ビッグデータの活用</li></ul>
	演習（例）		<ul style="list-style-type: none"><li>・課題を通じたクラウドを利用演習</li><li>・クラウド活用の企画・提案サービス演習</li><li>・ビッグデータ利用のためのクラウド活用</li></ul>
応用・実践要素（例）		<ul style="list-style-type: none"><li>・クラウドを活用したシステム構築</li><li>・ビッグデータの仕組みと活用事例</li></ul>	

## 日程設定と受講料（例）

- (1) 1日（6時間）コース  
3,300円（税込）
- (2) 2日間（12時間）コース  
5,500円（税込）

※ 金額は、1名あたりの受講料です。  
※ 6～30時間の間で設定可能です。

## 推奨対象者

中堅層

## 関連コース

- A バックオフィス
- ・IoT活用によるビジネス展開
  - ・クラウドを活用したシステム導入
  - ・IoT導入に係る情報セキュリティ
  - ・生成AIの活用
- B 組織マネジメント
- ・IoTを活用したビジネスモデル
  - ・個人情報保護と情報管理
- C マーケティング
- ・マーケティング戦略概論
  - ・インターネットマーケティングの活用
- C プロモーション
- ・チャンスをつかむインターネットビジネス

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。  
なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。

# I o T活用によるビジネス展開

## 人材育成上の課題・目標

- ・ I o Tとビッグデータの関係がよくわからない
- ・ ネットを活用した情報収集や遠隔操作を行いたい
- ・ コスト削減と併せて質の高い製品・サービスを提供したい
- ・ 自社事業に I o Tを導入できるかどうかわからない



## 課題解決・目標達成を目指して

- ・ I o T技術と関連法及びその問題点を知る
- ・ I o T利活用と導入事例を知る
- ・ インターネット回線利用のリスクを理解する
- ・ I o Tの導入手順を理解する
- ・ 自社事業への導入を想定したビジネス展開（スマートファクトリーなど）を検討する

## コースのねらい

I o Tに関する基本的な知識、技能・技術を理解し、I o Tを活用したビジネス展開手法を習得する。

## カリキュラム（例）

基本要素	基本項目	主な内容（例）
	■ I o T (Internet of Things) とビッグデータ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I o Tの概要</li> <li>・ ビッグデータの歴史と特徴</li> <li>・ ビッグデータの影響力</li> <li>・ データの収集方法</li> </ul>
	■ I o Tを活用したビジネス展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 制約条件</li> <li>・ スマートファクトリー</li> <li>・ クラウド（インターネット回線）利用時のリスク</li> </ul>
	演習（例）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題を通じた I o T活用によるビジネス展開演習</li> <li>・ I o T活用による問題検証</li> <li>・ 自社におけるビジネス展開案の作成</li> </ul>
応用・実践要素（例）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラウド活用によるビッグデータ分析</li> <li>・ 先進企業等の事例紹介</li> </ul>

## 日程設定と受講料（例）

- (1) 1日（6時間）コース  
3,300円（税込）
- (2) 2日間（12時間）コース  
5,500円（税込）

※ 金額は、1名あたりの受講料です。  
※ 6～30時間の間で設定可能です。

## 推奨対象者

中堅層

## 関連コース

- A バックオフィス
  - ・ クラウド活用入門
  - ・ クラウドを活用したシステム導入
  - ・ I o T導入に係る情報セキュリティ
  - ・ テレワークを活用した業務効率化
  - ・ 生成AIの活用
- B 組織マネジメント
  - ・ I o Tを活用したビジネスモデル
- C プロモーション
  - ・ チャンスをつかむインターネットビジネス

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。  
なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。



# クラウドを活用したシステム導入

## 人材育成上の課題・目標

- ・クラウドサービスの導入方法がわからない
- ・クラウドサービスの導入におけるコストの試算方法を知りたい
- ・クラウドをファイルサーバ以外にも活用していきたい
- ・自社に合ったクラウドサービスを知りたい



## 課題解決・目標達成を目指して

- ・クラウドの技術的事項を知る
- ・クラウドサービスの提供事業者とそれぞれの特徴を知る
- ・クラウドシステムの種類と導入・ランニングコストを知る
- ・クラウド導入時、運用時の問題点を検証する

## コースのねらい

クラウドに関する知識・技能・技術を理解し、クラウドを活用したシステム導入に係る知識を習得する。

## カリキュラム（例）

基本要素	基本項目	主な内容（例）
	■ クラウド技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスの概要</li> <li>・クラウドを実現する技術とは</li> <li>・分散処理</li> <li>・データベース</li> </ul>
	■ クラウドサービスとシステム導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス提供事業者</li> <li>・システム導入</li> </ul>
	演習（例）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム導入に係るコスト試算演習</li> <li>・クラウドシステム導入上の問題検証</li> <li>・プライベートクラウドの構築（提案）</li> </ul>
	応用・実践要素（例）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IoTにおけるクラウド活用</li> <li>・先進企業等のクラウド導入事例</li> <li>・クラウド化による生産性向上にかかる取組事例</li> </ul>

## 日程設定と受講料（例）

- (1) 1日（6時間）コース  
3,300円（税込）
- (2) 2日間（12時間）コース  
5,500円（税込）

※ 金額は、1名あたりの受講料です。  
※ 6～30時間の間で設定可能です。

## 推奨対象者

中堅層

## 関連コース

- A バックオフィス
  - ・IoT活用によるビジネス展開
  - ・クラウド活用入門
  - ・IoT導入に係る情報セキュリティ
  - ・生成AIの活用
- B 組織マネジメント
  - ・IoTを活用したビジネスモデル
- C マーケティング
  - ・マーケティング戦略概論
- C プロモーション
  - ・チャンスをつかむインターネットビジネス

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。  
なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。



# IoT導入に係る情報セキュリティ

## 人材育成上の課題・目標

- ・IoT導入のメリット・デメリットがわからない
- ・情報セキュリティに関する社員の知識が乏しい
- ・情報漏えいの心配がある
- ・サイバー攻撃対策がわからない



## 課題解決・目標達成を目指して

- ・IoT導入の有用性と各社の導入事例を知る
- ・情報セキュリティに関するリスク等を理解する
- ・現場におけるセキュリティリスクをチェックする
- ・各リスクへの対策方法を理解する

## コースのねらい

情報セキュリティ対策の適正化を目指して、IoT導入の有用性及び情報セキュリティに関するリスク及びセキュリティチェック等の必要な対策についての知識及び技術を得得する。

## カリキュラム（例）

基本要素	基本項目	主な内容（例）
	■ IoT (Internet of Things) 導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入の背景と利便性及び危険性</li> <li>・ネットワークの利用方法</li> </ul>
	■ 情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイアーウォールによる防衛</li> <li>・パスワード解読によるアカウント乗っ取りと防衛</li> <li>・ウィルスによる攻撃とアンチウィルスソフトの導入</li> <li>・セキュリティリスクの洗い出し方法</li> </ul>
	演習（例）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウド活用時のセキュリティ対策演習</li> <li>・セキュリティリスクの洗い出し</li> <li>・セキュリティチェック演習（パケットモニタを利用した各種ログの活用）</li> </ul>
応用・実践要素（例）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・セーフティ設計とセキュリティ設計</li> <li>・各業界におけるIoT動向事例</li> </ul>

## 日程設定と受講料（例）

- (1) 1日（6時間）コース  
3,300円（税込）
- (2) 2日間（12時間）コース  
5,500円（税込）

※ 金額は、1名あたりの受講料です。  
※ 6～30時間の間で設定可能です。

## 推奨対象者

中堅層

## 関連コース

- A バックオフィス
- ・クラウド活用入門
  - ・IoT活用によるビジネス展開
  - ・クラウドを活用したシステム導入
  - ・テレワークを活用した業務効率化
  - ・生成AIの活用
- B 組織マネジメント
- ・IoTを活用したビジネスモデル
- C プロモーション
- ・チャンスをつかむインターネットビジネス

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。  
なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。

# クラウドを活用した情報共有能力の拡充

## 人材育成上の課題・目標

- ・自社に合ったクラウドサービスが知りたい
- ・クラウドを導入したが社内の情報共有がスムーズにできない
- ・クラウドで共有した情報の活用方法が分からない
- ・クラウドを使った他社の成功例が知りたい
- ・クラウドをファイルサーバ以外にも活用していきたい
- ・クラウドサービスの導入コストが知りたい



## 課題解決・目標達成を目指して

- ・クラウドサービス上の情報共有化に活用できるツールを知る
- ・クラウドを活用するための業務の選定の方法を理解する
- ・共有した情報の見える化の重要性を理解する
- ・クラウドを用いた情報共有の成功例を理解する

## コースのねらい

部門や拠点間の情報共有・調整コストの軽減をめざして、クラウドの技術概要や活用事例、活用検討にあたってのポイントを理解し、クラウドを活用した自社業務における情報共有の課題解決に繋げるための能力を習得する。

## カリキュラム（例）

基本要素	基本項目	主な内容（例）
	■ 情報共有方法とクラウドの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務における情報共有の必要性</li> <li>・情報共有方法の現状</li> <li>・情報共有ツールの活用</li> <li>・クラウドを活用した情報共有方法</li> </ul>
	■ クラウドを活用した情報共有能力の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有プロセスの分析</li> <li>・業務の見える化と課題の洗い出し</li> <li>・クラウド活用の長所と留意点</li> <li>・導入に係る課題解決策立案</li> </ul>
	演習（例）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有のためのクラウド活用の課題と解決法の検討</li> <li>・クラウドを利用した情報共有演習</li> <li>・クラウドを利用した部署別の情報共有化演習</li> </ul>
応用・実践要素（例）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドと外部システムとの連携</li> <li>・プラットフォームサービスを活用した業務効率化事例</li> <li>・クラウドを活用した社内情報の共有化の成功例</li> </ul>

## 日程設定と受講料（例）

- (1) 1日（6時間）コース  
3,300円（税込）
- (2) 2日間（12時間）コース  
5,500円（税込）

※ 金額は、1名あたりの受講料です。  
※ 6～30時間の間で設定可能です。

## 推奨対象者

中堅層

## 関連コース

- A バックオフィス
- ・IoT活用によるビジネス展開
  - ・クラウド活用入門
  - ・クラウドを活用したシステム導入
  - ・生成AIの活用
- B 組織マネジメント
- ・IoTを活用したビジネスモデル

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。  
なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。